

湖山池ナチュラルガーデン 晴れらかだより 夏号

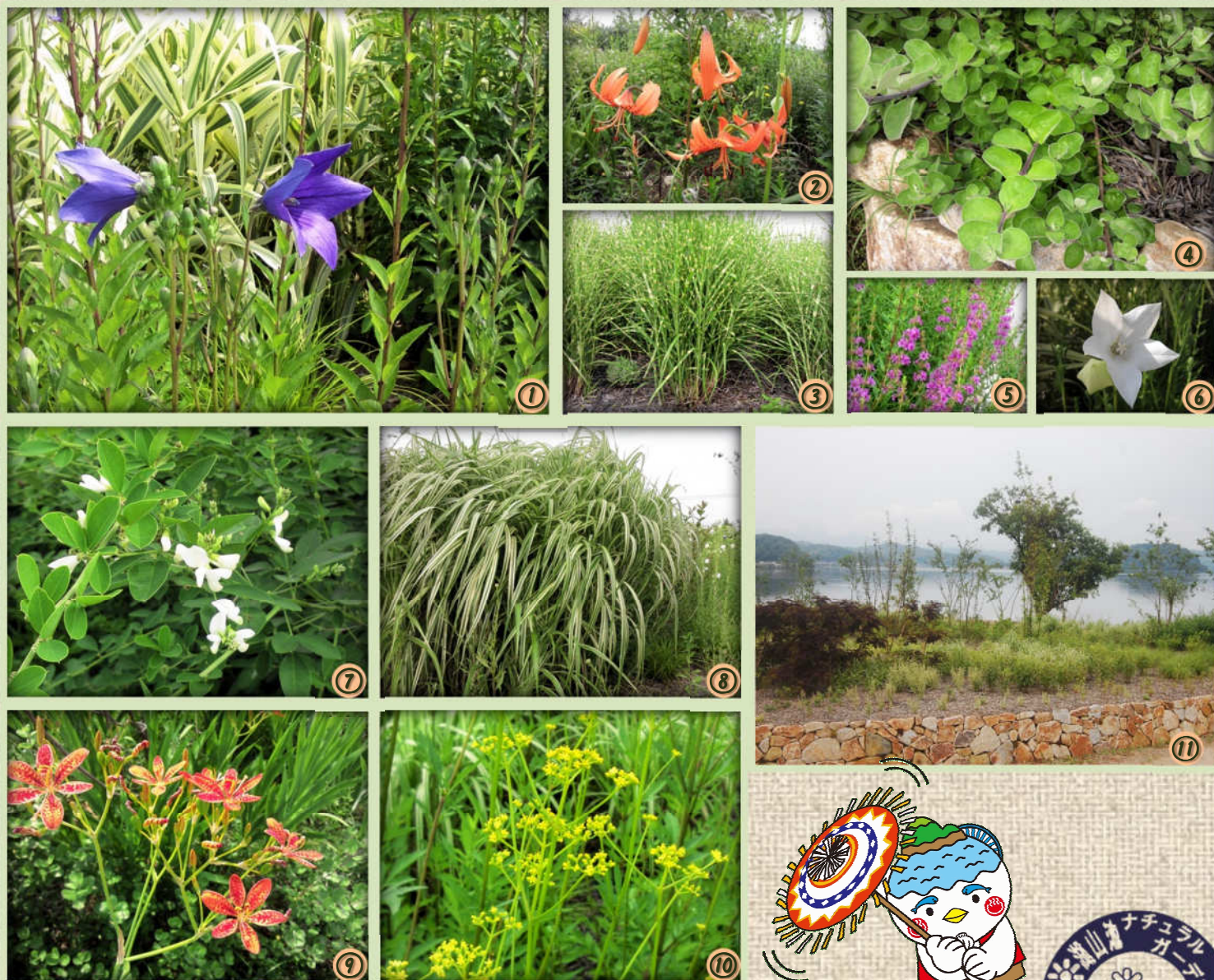
植物は晴れやか庭園の名前に恥じないほど、たくましくすがすがしく育っています。昨年の夏と比べて違いがはっきりとわかります。

今は梅雨のため、曇りがちな日が続き足を運ぶのもおっくうになりがちですが、梅雨が明けたら是非足を運んでいただき、今までとは見違えるほど大きくなった姿を見ていただければと思います。

緑化フェアも今年できれば、なおよかったなとひしひしと感じています。

心地よい春の日差しを浴び、精一杯葉を広げ大きくなった植物たち。夏の肌を刺す太陽の光をエネルギーとして蓄え、種を作る植物もちらほらと見えるようになりました。また土の温度が上がらないように自らの葉で影を作っているさまは、生き残るための知恵なのでしょう。

今回は夏の暑さに負けず生き生きと葉を広げる庭園の中、ひときわ目立つ植物の一部を紹介します。



①キキョウ(青)
⑦シロバナハギ

②コオニユリ
⑧シマススキ

③タカノハススキ
⑨ヒオウギ

④ハマゴウ
⑩オミナエシ

⑤ミソハギ
⑪昨年の様子

⑥キキョウ(白)



とっとり晴れやか庭園 豆知識

ここでは制作中のエピソードの一部を紹介します。次号以降もちょっとずつ掲載予定です。

その3：ピオトープ水辺護岸の 豆知識

以前の島の中にあった3本のシダレヤナギを移植し、全てを除草した後、崩れていた護岸の補修として、水際に生息しているキヌヤナギの枝を採取し、ポールさん自らが編みこみながら自然護岸を構築していきました。ただ土の流出を抑えるだけでなく、護岸からキヌヤナギの葉が生育し、見事な自然護岸が出来上がりました。また、流れの底や現況護岸の石材を掘り起こし、上流護岸の先端に移動させ、自然堰を創り本流は深く、支流は浅瀬にして生物や植物の生育領域についてもデザインされています。ポールさんいわく、このピオトープを見るポイントは、木橋の上からだそうです。雄大な湖山池を背景に、向こうにタチヤナギ、手前に移植のシダレヤナギ。開放的なピオトープを望む景観が絶景です。是非、木橋からの眺めをお楽しみください。



その4：夕日の美しい散策路の 豆知識

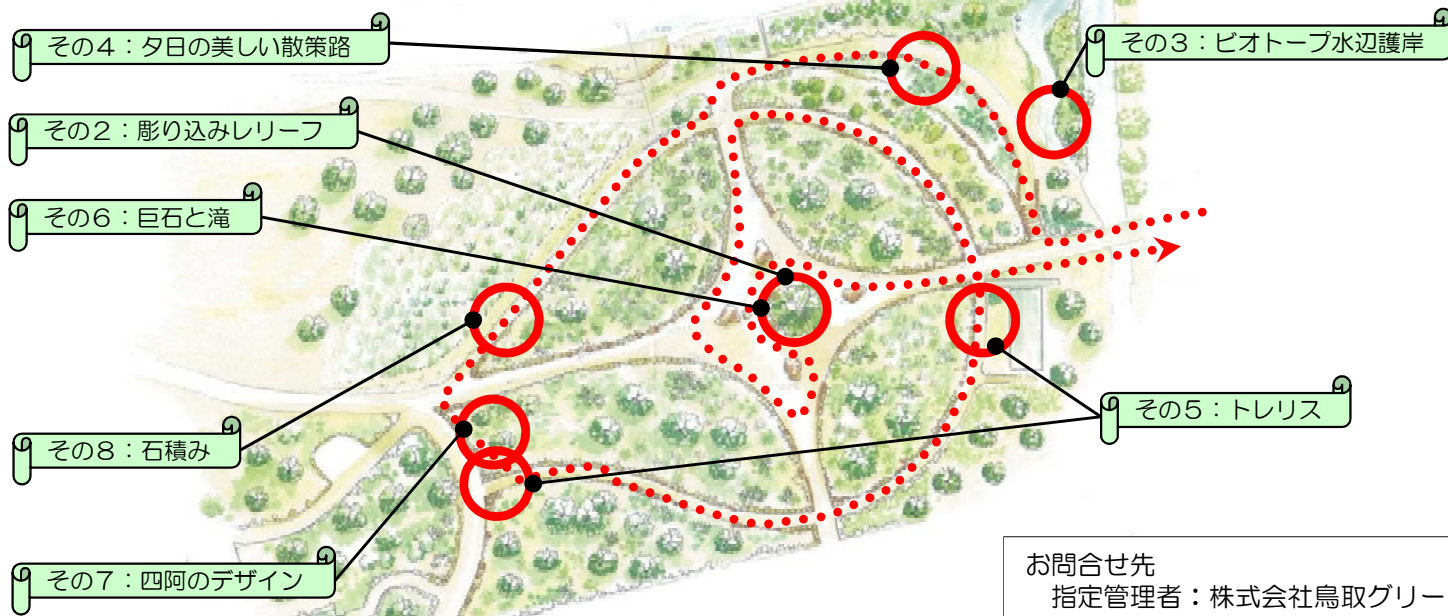
ポールさんもお気に入りの散策路があります。

『木橋を渡り、すぐ石階段を下りた「流れ沿いの小路。」木橋のたもとで上からの景観を楽しんだあと、石階段を下りて間近で流れと植物を觀賞する。下がることによって一旦、湖山池が見えなくなり、スロープを上がるとまた雄大な湖山池の絶景が広がる「風景の変化」を楽しむことが出来る。』

特に夕陽の時間が最高です。風になびいたススキに夕陽の黄金色が写り込む情景と、湖山池の見え隠れを楽しむのだそうです。ロマンチックですね。また下から望むナチュラルガーデンを楽しむのもココだけです。

庭園ぐるっと一周お勧め散策順路

全部で8つのエピソードを紹介予定です



お問合せ先
指定管理者：株式会社鳥取グリーン
☎0857-28-5090

発行：鳥取市役所 都市環境課
☎0857-20-3252

★鳥取駅より車で20分 ★鳥取大学前駅より徒歩10分
★鳥取駅から路線バスや観光周遊バス(8/31まで毎日)が出ています。